

総合計画市民検討協議会 第2回報告書（文化・学習 部会）

記録者	國分 大樹	場所	市役所北庁舎第1～3会議室	
開催日時	平成24年2月4日（土） 午前9時30分 ～ 正午			
出席者 （12名）	安藤 晴子	小野澤 せつ子	齊藤 千穂	酒井 千香
	笹野 晶子	松山 貴行	山内 啓司	
	大沢 直樹	國分 大樹	小柳 淳一	斎藤 麻美
	原田 賢			
傍聴者	0名（ ）			

1. 基本構想の見直しについて

見直しの視点	<ul style="list-style-type: none"> ●「第1回市民検討協議会のまとめ資料」を確認した上での追加意見 <ul style="list-style-type: none"> ・特に追加意見等はなし。 ●まちづくりの主な課題に関する意見 <ul style="list-style-type: none"> 【テーマ1：男女共同参画社会の推進】 <p>平成11年度に男女共同参画都市宣言を行ったが、講座等を実施して啓発はしているが、あまり進んでいないのが現状。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 意識づけがされていないという意見 <ul style="list-style-type: none"> ・意思決定の場に女性が参画する機会を設ける。 ・男性の側からも女性の参画を促す必要がある。 ・市のあらゆる検討分野に「女性の視点」を反映させる。（防災分野等） ・男女の役割分担意識を変える。 ・性別役割分業の意識を変える。 ・参加する場を設けても、会議での意思決定等は日常的に行っていないとできないものである。 2 参画できるような環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・女性が社会参画できるような環境をさらに整える。 ・介護や子育て等の環境を整える。
---------------	---

【テーマ2：コミュニティにおける参加と支えあい】

○地域におけるコミュニティ

- ・ずっと住んでいる人と引っ越ししてきた人の差がある。(祭りの時等)
- ・自治会、消防団等の役割が重要となる。声かけ、あいさつがきっかけになるのではないか。
- ・外から来た人からすると、自分からは入りにくいし、声をかけにくい雰囲気がある。
- ・人とのつながりに対し、抵抗感がある人が増えている。
- ・アンケートを取ると、「参加したい・やりたい」と思っているにもかかわらずきっかけがない。
- ・老人会等コミュニティの高齢化が見受けられるので、若い人がもっと参加できるようにするべき。

○目的によるコミュニティ

- ・府中市には国際交流サロン等施設があるが、あまり知られていない。
- ・イベントがきっかけでコミュニティが形成されるのではないか。
- ・イベントの実行委員会等に参加をすることで、コミュニティの形成につながるのではないか。
- ・ホームページや広報等でのイベントの告知、ボランティア募集をもっと大々的にやる必要がある。

●土地利用に関する意見

○みどり

- ・文化的価値の高い「けやき並木」を憩いの場所として活用。
- ・府中市と言えば、「みどりの多いまち」というイメージだが、農地が減ってきているので、農業従事者へのサポート等を行い、農地を減らさないような取り組みが必要。
- ・自然に親しむ、世代間の交流も生まれ、コミュニティの形成にもつながり、また、地産地消による食育にもつながる。

○防災

- ・防災を意識したまちづくりが必要ではないか。(都市計画等)
- ・大きな防災センター・充実した防災公園等の整備が必要。

○再開発

- ・商業を営んでいる人たちの意見を取り入れた、府中らしいまちづくり。
- ・市内でも施設の格差があるので、その解消をすることが必要ではないか。(西側に施設が少ない等)